

科目名	ホテル・ブライダル業界研究								
科目名(英)									
単位数	1	時間数	15	担当者	小形 享平				
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験	ホテル料飲部にて勤務				
対象学科・学年	ホテル・ブライダル科1年生								
授業概要	ホテル実習準備と実習に対する心構えの構築、ホテル実習先だけでなく、様々なホテルや企業を知る。								
授業形式	講義:	○	演習:		実習:		実技:		※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標			
	○			○		夏季実習に向け、業界に相応しい身だしなみを選択することができる			
	○	○				実習先企業に提出する書類を準備できる			
テキスト・教材 参考図書	・ホテル業界就職ガイド2021 ・講師作成資料								
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示			
	1	メイクアップ講座							
	2	夏季ホテル実習について							
	3	実習用写真撮影・海外留学説明会							
	4	韓国研修旅行説明会							
	5	夏季ホテル実習準備・提出書類について							
	6	ホテル実習 学生紹介シート作成							
	7	ホテル実習 実習先ホテル・地域調査/資料作成							
	8	ホテル実習中の生活・課題について							
	9								
	10								
	11								
	12								
	13								
	14								
15									
評価方法	(1)提出物は学生紹介シートの他、実習先確定後は実習ホテルや地域の調査を行い資料を作成したもの。 (2)授業態度は積極的な発言・質問の他、提出物期日の厳守などを評価する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準はS(90点以上)A(80点以上)B(70点以上)C(60点以上)D(59点以下)とする。								
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合		
	提出物	◎	○				50%		
	授業態度				◎		50%		
履修上の注意									

科目名	レストラン実務①						
科目名(英)							
単位数	2	時間数	30	担当者	小形 享平		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験	ホテル料飲部にて勤務		
対象学科・学年	ホテル・ブライダル科 1年生						
授業概要	サービスパーソンに求められる特に重要な3つの要素、即戦力として活躍できるサービス技術を身に付け、また、2年次に受験するHRS実務検定合格の為の基礎を作る。						
授業形式	講義: △	演習:	実習:	実技: ○	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
			○			レストランでの基本動作を身に着ける	
	○					レストランでの基本知識を身に着ける	
	○					サービスの違いを理解する	
			○			料飲部門の業務を理解する	
テキスト・教材 参考図書	「基礎からわかる レストランサービススタンダードマニュアル」 一般社団法人日本ホテルレストランサービス技能協会						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	料飲部門の業務			実習着用用・髪型・爪を整える。		
	2	料飲部門の位置づけ			実習着用用・髪型・爪を整える。		
	3	接客の基本動作とマインドについて			実習着用用・髪型・爪を整える。		
	4	サービス什器、備品の取り扱いについて			実習着用用・髪型・爪を整える。		
	5	テーブルクロスのかげかた ナプキンの折り方			実習着用用・髪型・爪を整える。		
	6	プレートサービス			実習着用用・髪型・爪を整える。		
	7	トレイサービス			実習着用用・髪型・爪を整える。		
	8	ドリンクサービス			実習着用用・髪型・爪を整える。		
	9	朝食サービスの業務			実習着用用・髪型・爪を整える。		
	10	ランチサービスの業務			実習着用用・髪型・爪を整える。		
	11	ディナーサービスの業務			実習着用用・髪型・爪を整える。		
	12	実技試験サービス練習①			実習着用用・髪型・爪を整える。		
	13	実技試験サービス練習②			実習着用用・髪型・爪を整える。		
	14	実技試験①			実習着用用・髪型・爪を整える。		
15	実技試験②			実習着用用・髪型・爪を整える。			
評価方法	(1)授業態度は服装・髪型・爪など授業に臨む上での基本姿勢で評価する。 (2)実技試験はサービス行程の把握、接客態度、時間内での達成で評価する。 以上を以下の観点・割合で評価する。 成績評価基準はS(90点以上)A(80点以上)B(70点以上)C(60点以上)D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	授業態度		○		◎		50%
	実技試験	○	○	◎			50%
履修上の注意	毎授業、実習服を着用し、髪型も現場に合わせたものにして出席すること。						

科目名	接客演習						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	宮末 由里子		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験	ウエディングプランナーとして結婚式場に勤務		
対象学科・学年	ホテル・ブライダル科 1年						
授業概要	実社会の中で必要な「社会人としての基本的な心構えとマナー」を学習する。知識だけでなく実践することによって、実社会で戸惑うことなく行動できるようにする。講義、個人ワークの他ロールプレイングを取り入れながら学習する。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
				○		社会人としての基本動作ができる。	
	○					敬語の使い方が理解できる。	
	○			○		来客の受付、取次、案内ができる。	
	○			○		電話の受け方、かけ方ができる。携帯電話、FAX、Eメールを理解できる。	
○					訪問のマナーを理解できる。		
テキスト・教材 参考図書	社会でいきる 実践ビジネスマナー (株式会社 ウィネット)						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	社会人としての心構え、基本動作				基本動作の練習をすること。	
	2	言葉遣いの基本				教科書の該当範囲を読んでおくこと。	
	3	来客対応1				教科書の該当範囲を読んでおくこと。	
	4	来客対応2、小テスト				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと。	
	5	電話対応1				教科書の該当範囲を読んでおくこと。	
	6	電話対応2				教科書の該当範囲を読んでおくこと。	
	7	訪問のマナー、総まとめ				教科書の該当範囲を読んでおくこと。	
	8	定期試験(筆記及び基本動作)				授業内容に係る定期試験を実施するので、復習しておくこと。	
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)定期試験(筆記及び基本動作)を実施する。(2)授業の中で小テストを1回実施する。(3)ロールプレイングを数回実施する。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				60%
	小テスト	◎	○				20%
	ロールプレイング				◎		20%
履修上の注意	基本動作やロールプレイングを行うので、お客様対応ができる身だしなみで出席すること。(顔にかかる髪はまとめる)						

科目名	ホテル概論①						
科目名(英)							
単位数	1	時間数	15	担当者	小形 享平		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験	ホテル料飲部にて勤務		
対象学科・学年	ホテル・ブライダル科1年生						
授業概要	時代や人々の価値観とともに変化するホテル業界に対応するためのホテルの業態・業務などの基礎知識を学び、実習・就職活動・2年次に受験する様々な検定の為の力をつける						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				日本のホテル業界の歴史とホテルの業態を理解し、比較することができる	
		○				ホテルの各部門の基礎知識を吸収し、将来目標とする業種に関係づけることができる	
テキスト・教材 参考図書	・現代ホテル理論 株式会社マーケティングオフィス						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	ホテルの種類と三要素					
	2	ホテル開業までのプロセス、リゾートホテルの全体像					
	3	シティホテルとビジネスホテル、ホテルの組織の基本					
	4	宿泊部門 客室の種類と料金、フロントセクションの業務					
	5	料飲部門 ホテルのレストランとバーの基礎知識と業務					
	6	宴会部門 ホテルが企画するイベントの基本					
	7	婚礼部門 ホテルウェディングの概要					
	8	前期まとめ ホテルの基礎と各部門の理解					
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	①定期試験を実施する ②毎授業頭に前回の授業の確認として小テストを実施する ③宿題・レポートを数回実施する。以上を下記の観点、割合で評価する 成績評価はS(90点以上)、A(80点以上)、B(70点以上)C(60点以上)D(59点以下)とする						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				50%
	小テスト	◎	○				30%
	宿題・レポート	○	◎		○		20%
履修上の注意							

科目名	宿泊実務①						
科目名(英)							
単位数	1	時間数	15時間	担当者	藏田純子		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験	ホテルにてコンシェルジュとして勤務		
対象学科・学年	ホテル・ブライダル科 1年						
授業概要	ホテル全般の基礎的な知識や各職務内容の役割が理解できる。インターンシップに向け、お客様のニーズや心理を理解し実践でお客様に合わせた対応ができることを目指す。						
授業形式	講義:	○	演習:		実習:		
					実技:		
	※ 主たる方法:○ その他:△						
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	◎			◎		フロントオフィスでの役割や業務内容を説明することができる。	
		◎				チェックインの際の手順を説明でき、行動化できる。	
		◎				電話応対に必要なポイントを説明することができ、予約の電話の際の受け方が確実にできる。	
テキスト・教材 参考図書	株式会社ウイネット「ホテルテキストⅠ フロントオフィス編」「ホテルテキスト宿泊Ⅱ フロントサービス編」						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	第1章フロントオフィスとは 意義と役割 第2章客室の種類とタイプ				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	2	第3章リザーベーション業務 客室予約の種類と電話予約				電話予約のロールプレイングの練習	
	3	第3章リザーベーション業務 電話予約				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	4	第4章レセプション業務 チェックイン業務				チェックイン業務のロールプレイングの練習	
	5	前回授業の復習と実践				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	6	第5章フロントキャッシャー業務 会計業務について				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	7	第6章インフォメーション業務 インフォメーションクラークについて				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	8	第7章防犯業務 まとめ					
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)定期試験(実践)を実施する。(2)発表・演習課題(ロープレイング)以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎	◎			70%
	発表・演習課題				◎		30%
履修上の注意							

科目名	GCB I						
科目名(英)							
単位数	1	時間数	15	担当者	小形 享平		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験	ホテル料飲部にて勤務		
対象学科・学年	ホテル・ブライダル科 1年生						
授業概要	麻生塾生としての自分のあり方とを学び、感謝や思いやりがなぜ大切なのかを考える。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				キャリア実現の鍵は専門能力および発揮できる力(人間力)であることを知ることができる	
	○	○				「感謝心」が人間力の根底にあることを知ることができる	
		○				人間力を高めるためのマナーの重要性に気づくことができる	
テキスト・教材 参考図書	Global Citizen Basic I 学生用テキスト						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	グローバル・シティズンを目指そう					
	2	「協働」の態度を持った学生生活					
	3	よりよい人間関係の構築に向けて モラル・ルール・マナーの重要性					
	4	マナーの本質 I					
	5	マナーの本質 II					
	6	グローバル・シティズンとしての日常					
	7	グローバルシティズンとしての目標					
	8	グローバルシティズンとしての「志」に向けて					
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)提出物は毎授業後に作成・提出するレポート内容、提出期限の厳守で評価する。 (2)授業態度は積極的な発言・質問で評価する。 以上を下記の観点・割合で評価する 成績評価基準は、R(単位認定)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	提出物		◎		○		50%
	授業態度				◎		50%
履修上の注意	授業感想文は毎回翌日朝に提出(土日挟めば週明け)						

科目名	ウェディングセレモニー概論①						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	丸尾陽実		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験	フリーのウェディングプランナーとして15年の実務経験		
対象学科・学年	ホテル・ブライダル科 1年生						
授業概要	結婚および結婚式に必要な専門知識と実践的なブライダルマネジメントに繋がる知識を獲得する						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					結婚及び結婚式に関する一般常識、文化、法令、慣習、宗教、儀礼、作法等に関する知識修得できる	
	○					ブライダルサービスやプランの企画・プランニングのイメージングができ、発表できる	
				○		提案、説明、承諾のステップを踏まえたプレゼンテーションができる	
	○			○		課題に対しグループで協力して取り組む姿勢がみられる	
テキスト・教材 参考図書	ブライダルコーディネーターテキストスタンダード、ブライダル用語辞典						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	結婚の定義、結婚とは			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	2	日本と欧米の結婚式の歴史と文化			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	3	キリスト教の教派毎の結婚式			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	4	ブライダルビジネスとブライダル業種			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	5	見合いと婚約			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	6	結納、婚約			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	7	各宗派の結婚式(キリスト教式、神前式、仏前式、人前式)			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	8	ブライダルコーディネーター業務			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎			◎		100%
履修上の注意	出席が6回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	一般教養 I - ①						
科目名(英)	Common sense						
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	島 一弘		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験	麻生にて人文科目を指導		
対象学科・学年	ホテル・ブライダル科 1年						
授業概要	日本という社会において意思疎通を図れる用語や計算を駆使することができるようことを目指す。また日本社会はもちろん外国の社会の仕組みやその役割・機能を理解習得を目指す。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法: ○ その他: △		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					日本国民としての社会を理解する基本用語の理解ができる。	
		○				社会のシステムを理解してその一員であることを認識できる。	
				○		常にあらゆるものに対して「なぜ」という疑問を持ち、問題に取り組むことができる。	
テキスト・教材 参考図書	わかる！一般常識(新星出版社) トレーニングコース基礎指導5回コース(実務教育出版)						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	政治			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	2	経済			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	3	国際			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	4	社会			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	5	科学技術			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	6	文化・スポーツ			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	7	国語			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	8	地理・歴史			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)小テストを行う (3)宿題・レポートを毎回実施する。*学習意欲(居眠り・私語)は減点 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				60%
	小テスト	○	○		◎		10%
	宿題・レポート	○	◎		◎		30%
履修上の注意							

科目名	サービス接遇						
科目名(英)							
単位数	3単位	時間数	45時間	担当者	藏田 純子		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験	ホテルにてコンシェルジュとして勤務		
対象学科・学年	ホテル・ブライダル科 1年						
授業概要	サービス業に就く上で必要なビジネスマナーの基礎知識を学ぶ。実習や就職を踏まえてのサービススタッフの心構えを理解し、実践できることを目指す。又サービス接遇検定試験2級合格ができるようにする。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	目標						
	○				ビジネスマナーの基本である身だしなみ、挨拶、表情の持つ意味を理解し説明することができる。		
	○	○			敬語の必要性を理解し、相手によって使い分けができる。		
	○	○			サービス接遇検定2級を取得する。		
テキスト・教材 参考図書	サービス接遇検定受験ガイド2級・実問題集・実践問題集						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	授業のガイダンス・シラバスの説明 自己紹介			これまでに受けたサービスについて良いサービス、悪いサービスを考える		
	2	これまでに受けたサービスについて			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	3	サービススタッフに必要な要件 明るさと誠実さ・笑顔・身だしなみ			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	4	従業要件 良識を持った態度			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	5	サービス知識 サービスの意義・機能・種類			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	6	従業知識 商業用語・経済用語			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	7	社会常識 時事問題・気になるニュースの発表			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	8	対人常識 人間関係の対処			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	9	接遇知識 顧客心理の理解 感謝される心理等			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	10	一般的なマナー 接客者としてのマナー			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	11	接客者としての話し方 接客用語・説明の際の話し方			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	12	服装 接客者としての適切な服装 身だしなみのポイント			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	13	問題処理 問題処理とは・苦情対応の基本			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	14	環境設備 環境整備の具体例			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	15	金品管理 金品管理のプロセス・搬送			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	16	社交業務 慶弔行事の種類・贈答のマナー			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	17	練習問題と補足			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	18	練習問題と補足			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	19	練習問題と補足			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	20	練習問題と補足			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	21	練習問題と補足			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	22	練習問題と補足			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	23	定期試験と検定対策					
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)授業の中で小テストを5回実施する。(3)宿題・レポートを数回実施する。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎					50%
	小テスト	◎					30%
宿題・レポート				◎		20%	
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	実用英語 I - ①						
科目名(英)	Prctical English I - ①						
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	津田 徳子		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験	外資系企業の秘書として勤務		
対象学科・学年	ホテル・ブライダル科 1年						
授業概要	国際的なビジネスの場で必要とされる英語の能力を養う事を目的に、TOEICの問題を中心にリスニング・リーディングの演習を行います。また、文法・語彙の強化に努め、TOEICのスコアアップを目指します。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					TOEIC問題を解く際に必要な文法を説明することができる。	
	○					TOEIC頻出単語・熟語を覚え、応用できる。	
	○					様々な国の発音に慣れ、話の内容を聞き取り、日本語でも述べることができる。	
	○					ビジネス文書や記事を読み、内容を日本語に訳することができる。	
テキスト・教材 参考図書	<ul style="list-style-type: none"> ・TOEIC Listening&Reading 問題集5 (国際ビジネスコミュニケーション協会) ・TOEIC L&R出る単特急銀のフレーズ (朝日新聞出版) 						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	シラバス確認、TOEICテストの概要と学習方法、聴解の勉強方			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	2	Listening (Section1 &2)、Reading Part 5(語彙①)			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	3	Listening (Section3 &4)、Reading Part 5(語彙②)			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	4	Listening (Section 5 &6)、Reading Part5(文法 品詞①)			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	5	Listening (Section7 &8)、Reading Part5(文法 品詞②)			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	6	Listening (Section9 &10)、Reading Part6(長文空所問題①)			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	7	Listening (Section11 &12)、Reading Part6(長文空所問題②)			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	8	Listening (Section 13 &14)、Reading Part7(長文読解①)			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	9	Listening (Section 15 &16)、Reading Part7(長文読解②)			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	10	Listening (Section 17 &18)、Reading Part7(長文読解③)			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	11	Listening (Section 19 &20)、Reading Part7(長文読解④)			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	12	演習問題 Test 1 (Listening)、解答解説			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	13	演習問題 Test 1 (Reading)、解答解説①			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	14	演習問題 Test 1 (Reading)、解答解説②			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	15	公式問題分野別学習 Reading:Part 5 Listening:Part1			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	16	Reading:Part 5 Listening: Part 2			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	17	Reading:Part 5 Listening: Part 2			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	18	Reading:Part 6 Listening: Part 3			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	19	Reading:Part 6 Listening: Part 3			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	20	Reading:Part 6 Listening: Part 3			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	21	Reading:Part 7 Listening: Part 4			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	22	Reading:Part 7 Listening: Part 4			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	23	Reading:Part 7 Listening: Part 4			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	24	Reading:Part 7 Listening: Part 4			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	25	Reading:Part 7 Listening: Part 4			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	26	総合問題 Test 2 (Listening)			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	27	総合問題 Test 2 (Listening) 解答解説			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	28	総合問題 Test2 (Reading)			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	29	総合問題 Test2 (Reading) 解答解説			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	30	総合問題 Test2 (Reading) 解答解説			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施 (2)単語テストを毎週実施 (3)朝自習プリント、宿題等の提出 (4)検定結果以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。 TOEICの受験結果を評価する。450点以上を100点、425点~445点を90点、400~420点を80点、360~395点を70点、270点以上を60点以上を下記の観点・割合で評価する。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	○	◎				50%
	小テスト(単語テスト)	○	○				25%
	朝自習プリント・宿題	○	○		○		15%
TOEIC検定	○	○				10%	
履修上の注意	・辞書を持参(スマホ使用禁止) ・提出物は期限厳守 ・授業外での自主学習						

科目名	実用英語 I - ①						
科目名(英)	Prctical English I - ①						
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	深川信子		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験	予備校・塾にて英語講師として勤務		
対象学科・学年	ホテル・ブライダル科 1年						
授業概要	国際的なビジネスの場で必要とされる英語の能力を養う事を目的に、TOEICの問題を中心にリスニング・リーディングの演習を行います。また、文法・語彙の強化に努め、TOEICのスコアアップを目指します。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					TOEIC問題を解く際に必要な文法を理解する事ができる。	
	○					TOEIC頻出単語・熟語を覚え、使用する事ができる。	
	○					様々な国の発音に慣れ、話の内容を理解する事ができる。	
	○					ビジネス文書や記事を読み、内容を理解する事ができる。	
テキスト・教材 参考図書	・TOEIC Listening&Reading 問題集5 (国際ビジネスコミュニケーション協会) ・TOEICテスト英文法をひとつひとつわかりやすく(学研) ・TOEIC L&R出る単特急銀のフレーズ(朝日新聞出版)						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	シラバス確認、文法: unit1、Listening: Part1					
	2	文法: unit2-4 Listening: Part2			該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分も聴くこと		
	3	文法: unit5-7 Listening: Part2			該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分も聴くこと		
	4	文法: unit8-10 Listening: Part2			該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分も聴くこと		
	5	文法: unit11-13 Listening: Part2			該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分も聴くこと		
	6	文法: unit14-16 Listening: Part3			該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分も聴くこと		
	7	文法: unit17-19 Listening: Part3			該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分も聴くこと		
	8	文法: unit20-22 Listening: Part3			該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分も聴くこと		
	9	文法: unit23-25 Listening: Part3			該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分も聴くこと		
	10	文法: unit26-28 Listening: Part3			該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分も聴くこと		
	11	文法: unit29-31 Listening: Part3			該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分も聴くこと		
	12	文法: unit32-34 Listening: Part3			該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分も聴くこと		
	13	文法: unit35-37 Listening: Part3			該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分も聴くこと		
	14	文法: unit38 Listening: Part4			該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分も聴くこと		
	15	Reading: Part5 Listening: Part4			該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分も聴くこと		
	16	Reading: Part5 Listening: Part4			該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分も聴くこと		
	17	Reading: Part5 Listening: Part4			該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分も聴くこと		
	18	Reading: Part6 Listening: Part4			該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分も聴くこと		
	19	Reading: Part6 Listening: Part4			該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分も聴くこと		
	20	Reading: Part6 Listening: Part4			該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分も聴くこと		
	21	Reading: Part6 Listening: Part4			該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分も聴くこと		
	22	Reading: Part7 Listening: Part4			該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分も聴くこと		
	23	Reading: Part7 Listening: Part4			該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分も聴くこと		
	24	Reading: Part7 Listening: Part4			該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分も聴くこと		
	25	Reading: Part7 Listening: Part4			該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分も聴くこと		
	26	Reading: Part7 Listening: Part4			該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分も聴くこと		
	27	Reading: Part7 Listening: Part4			該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分も聴くこと		
	28	Reading: Part7 Listening: Part4			該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分も聴くこと		
	29	Reading: Part7 Listening: Part4			該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分も聴くこと		
	30	Reading: Part7 Listening: Part4			該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分も聴くこと		
履修上の注意	(1)定期試験(筆記)を実施 (2)単語テストを毎週実施 (3)朝自習プリント、宿題等の提出 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
	小テスト(単語テスト)	◎					25%
	宿題・レポート	◎	○		○		25%
履修上の注意	・辞書を持参(スマホ使用禁止) ・提出物は期限厳守 ・授業外での自主学習						

科目名	実用英語 I -① (Bクラス)									
科目名(英)	Practical English for STEP 2nd Grade I -①(B Class)									
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	蟻川 信三					
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験	福岡県立高等学校27年間勤務					
対象学科・学年	ホテル・ブライダル科1年生									
授業概要	就職活動の資格試験として、実用英語検定試験2級合格を目指します。英語検定2級の問題を中心に、リーディング・リスニングを中心に演習を行います。また、英文読解力・語彙の強化に努め、英語の4技能(読む・書く・聞く・話す)の表現力を高めることを目的とします。									
授業形式	講義:	○	演習:	△	実習:		実技:		※ 主たる方法:○	その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標				
	○					語彙: 英語検定2級レベルの語彙(約4000~5000語)の意味が理解できるようになる				
	○					読む: まとまりのある説明文を理解し、実用的な文から必要な内容を読み取ることができるようになる。				
	○	○				書く: 日常生活での話題についてある程度まとまりのある文章を書くことができるようになる				
	○					聞く: 様々な内容の英語を理解し、正しく聴き取れるようになる				
	○					話す: 日常生活での出来事について説明したり、用件を伝えたりすることができるようになる				
テキスト・教材 参考図書	・旺文社 英検2級DAILY20日集中ゼミ ・旺文社 での順パス英検2級 1700語									
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示				
	1	プレースメントテスト 4/13								
	2	プレースメントテスト(FBを行う) & 英検2級の概要説明 4/14								
	3	序説: 名詞・形容詞・副詞の役割と文の要素(S/V/O/C/M) 4/16				左記の内容をそれぞれ言えるように覚えること				
	4	序説: 英語の5文型と文の構造 4/20				各文型の基本構造を言えるように覚えること 「英検2級集中ゼミ」を予習しておくように				
	5	1日目: 短文の語句空所補充問題①(単語)解説&問題 4/21				「英検2級集中ゼミ」を予習しておくように。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること				
	6	2日目: 短文の語句空所補充問題②(熟語)解説&問題 4/23				「英検2級集中ゼミ」を予習しておくように。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること				
	7	3日目: 短文の語句空所補充問題③(文法)解説&問題 4/27				「英検2級集中ゼミ」を予習しておくように。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること				
	8	4日目: 短文の語句空所補充問題④(語法)解説&問題 4/28				「英検2級集中ゼミ」を予習しておくように。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること				
	9	5日目: 長文の語句空所補充問題①解説&問題「A」・「B」4/30				「英検2級集中ゼミ」を予習しておくように。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること				
	10	6日目: 長文の内容一致選択問題①解説 5/7				「英検2級集中ゼミ」を予習しておくように。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること				
	11	6日目: 長文の内容一致選択問題①問題「A」・「B」 5/7				「英検2級集中ゼミ」を予習しておくように。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること				
	12	7日目: 長文の内容一致選択問題②解説 5/11				「英検2級集中ゼミ」を予習しておくように。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること				
	13	7日目: 長文の内容一致選択問題②問題「A」・「B」 5/11				「英検2級集中ゼミ」を予習しておくように。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること				
	14	8日目: 英作文の問題① 解説 5/12				「英検2級集中ゼミ」を予習しておくように。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること				
	15	8日目: 英作文の問題① 問題 5/12				「英検2級集中ゼミ」を予習しておくように。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること				
	16	9日目: 会話の内容一致選択問題① 解説&問題 5/14				「英検2級集中ゼミ」を予習しておくように。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること				
	17	10日目: 文の内容一致選択問題① 解説&問題 5/18				「英検2級集中ゼミ」を予習しておくように。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること				
	18	11日目: 【応用】短文の語句空所補充問題単語⑤ 5/18				「英検2級集中ゼミ」を予習しておくように。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること				
	19	演習: リスニング特訓① 5/19				「英検2級集中ゼミ」を予習しておくように。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること				
	20	12日目: 【応用】短文の語句空所補充問題熟語⑥ 5/19				「英検2級集中ゼミ」を予習しておくように。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること				
	21	13日目: 【応用】短文の語句空所補充問題文法⑦ 5/21				「英検2級集中ゼミ」を予習しておくように。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること				
	22	14日目: 【応用】短文の語句空所補充問題語法⑧ 5/21				「英検2級集中ゼミ」を予習しておくように。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること				
	23	演習: リスニング特訓② 5/25				「英検2級集中ゼミ」を予習しておくように。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること				
	24	15日目: 【応用】長文の語句空所補充問題②-A 5/25				「英検2級集中ゼミ」を予習しておくように。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること				
25	15日目: 【応用】長文の語句空所補充問題②-B 5/26				「英検2級集中ゼミ」を予習しておくように。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること					

	26	演習:リスニング特訓③	5/26	「英検2級集中ゼミ」を予習してくるよう。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること			
	27	16日目:【応用】長文の語句空所補充問題③-A	5/28	「英検2級集中ゼミ」を予習してくるよう。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること			
	28	16日目:【応用】長文の語句空所補充問題③-B	5/28	「英検2級集中ゼミ」を予習してくるよう。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること			
	29	演習:リスニング特訓④	5/29	「英検2級集中ゼミ」を予習してくるよう。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること			
	30	前期定期考査(筆記)	5/29				
評価方法	① 定期試験を実施する(筆記) ② 月曜日から金曜日まで、毎朝授業前に単語の小テストを行う ③ 宿題を数回課す。④ 授業中の取り組みや発表を評価する 以上を下記の観点・割合で評価する 成績評価基準は S:90点以上 A:80点以上 B:70点以上 C:60点以上 D:59点以下 とする						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
	小テスト	◎	○		○		25%
	宿題・レポート	◎	○		○		5%
	発表・作品	◎	○		○		20%
履修上の注意	① 授業前の予習は必ず行うこと。復習より予習の方が大切である。 ② 辞書(電子辞書可)を必ず持参すること。 ③ 筆記用具は必ず持参すること ④ 授業中のスマホ等の使用は絶対に禁止!(スマホ等での辞書アプリ禁止)						

科目名	実用英語 I - ①					
科目名(英)						
単位数	4	時間数	60	担当者	内丸 誌帆	
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験	専門学校にて講師として勤務	
対象学科・学年	ホテルブライダル科 1年					
授業概要	英検準2級合格を目標とする。 基本的な文法・単語を理解し、ホテル・空港、またそれに準ずる業務に必要な最低限度の英語力を身につける。					
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法: ○ その他: △	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
	○					準2級程度の文法を理解し、過去問題を解くことができる。
	○	○				頻出のイディオムを含んだ文章(10文程度)を暗唱・ライティングできる
				○		宿題・授業内での課題を期限内に提出できる
テキスト・教材 参考図書	旺文社 2020年度版 英検準2級 過去6回 全問題集／でる準パス単 英検準2級					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	実用英語1 短文の語句空所問題			単語テストに向けた学習	
	2	実用英語2 短文の語句空所問題			単語テストに向けた学習	
	3	実用英語3 短文の語句空所問題			単語テストに向けた学習	
	4	実用英語4 会話文の文空所補充			単語テストに向けた学習	
	5	実用英語5 会話文の文空所補充			単語テストに向けた学習	
	6	実用英語6 会話文の文空所補充			単語テストに向けた学習	
	7	実用英語7 長文の語句空所補充			単語テストに向けた学習	
	8	実用英語8 長文の語句空所補充			単語テストに向けた学習	
	9	実用英語9 長文の内容一致選択			単語テストに向けた学習	
	10	実用英語10 長文の内容一致選択			単語テストに向けた学習	
	11	実用英語11 長文の内容一致選択			単語テストに向けた学習	
	12	実用英語12 英作文問題① / リスニング			単語テストに向けた学習	
	13	実用英語13 英作文問題① / リスニング			単語テストに向けた学習	
	14	実用英語14 英作文問題② / リスニング			単語テストに向けた学習	
	15	実用英語15 英作文問題② / リスニング			単語テストに向けた学習	
	16	実用英語16 短文の語句空所問題			単語テストに向けた学習	
	17	実用英語17 短文の語句空所問題			単語テストに向けた学習	
	18	実用英語18 短文の語句空所問題			単語テストに向けた学習	
	19	実用英語19 会話文の文空所補充			単語テストに向けた学習	
	20	実用英語20 会話文の文空所補充			単語テストに向けた学習	
	21	実用英語21 会話文の文空所補充			単語テストに向けた学習	
	22	実用英語22 長文の語句空所補充			単語テストに向けた学習	
	23	実用英語23 長文の語句空所補充			単語テストに向けた学習	
	24	実用英語24 長文の内容一致選択			単語テストに向けた学習	
	25	実用英語25 長文の内容一致選択			単語テストに向けた学習	
	26	実用英語26 長文の内容一致選択			単語テストに向けた学習	

	27	実用英語27 英作文問題① / リスニング	単語テストに向けた学習				
	28	実用英語28 英作文問題① / リスニング	単語テストに向けた学習				
	29	実用英語29 英作文問題② / リスニング	単語テストに向けた学習				
	30	実用英語30 学期末試験					
評価方法	小テスト・宿題・提出物・定期試験を実施する 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	○	○				50%
	小テスト	○	○				30%
	宿題・レポート		○				20%
履修上の注意	課外だけでなく講義内でも単語テストを実施し、期末の成績に反映されるので自宅学習を徹底すること						

科目名	実用英語 I-①					
科目名(英)						
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	波多野 里美	
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験	航空会社にて国際線客室乗務員として勤務	
対象学科・学年	ホテルブライダル 1年					
授業概要	英検過去問題の文法、読解、リスニング、ライティングと徹底的に学習することにより、英検準2級合格を目指します。毎朝、朝課題として英単語と英熟語を学習してください。毎回リスニングを実施します。テキスト英検準2級過去問題集を徹底的に取り組みますので各自、予習・復習を実施すること。何度も学習することにより、日常生活に必要な英語を理解し、活用することが出来るレベルを目指します。					
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法: ○ その他: △	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	
	○					目標
	○					英検準2級の合格レベルの応用ができる
	○					英検準2級の英単語・熟語を書き覚えることができる。
	○					英検準2級のリスニング問題に対応できる。
	○					英検準2級の文法・読解を学習し、筆記問題に対応できる。
○					英検準2級程度の英作文のスキルを応用できる。	
テキスト・教材 参考図書	・英検準2級過去6回全問題集(旺文社)・でる順パス単英検準2級(旺文社) ・英検準2級をひとつひとつわかりやすく(学研)					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	リスニング・短文の語句空所補充・文法			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	2	リスニング・短文の語句空所補充・文法			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	3	リスニング・短文の語句空所補充・文法			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	4	リスニング・短文の語句空所補充・文法			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	5	リスニング・短文の語句空所補充・文法			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	6	リスニング・短文の語句空所補充・文法			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	7	リスニング・短文の語句空所補充・文法			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	8	リスニング・短文の語句空所補充・文法			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	9	リスニング・短文の語句空所補充・文法			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	10	リスニング・短文の語句空所補充・文法			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	11	リスニング・短文の語句空所補充・文法			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	12	リスニング・会話文の文空所補充テキスト・英作文			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	13	リスニング・会話文の文空所補充テキスト・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	14	リスニング・会話文の文空所補充テキスト・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	15	リスニング・会話文の文空所補充テキスト・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	16	リスニング・長文の語句空所補充テキスト・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	17	リスニング・長文の語句空所補充テキスト・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	18	リスニング・長文の語句空所補充テキスト・読解			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	19	リスニング・長文の内容一致選択テキスト・読解			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	20	リスニング・長文の内容一致選択テキスト・読解			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	21	リスニング・長文の内容一致選択テキスト・読解			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	22	リスニング・長文の内容一致選択テキスト・読解			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	23	リスニング・長文の内容一致選択テキスト・読解			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	24	リスニング・長文の内容一致選択テキスト・読解			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	25	リスニング・短文の語句空所補充・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
26	リスニング・短文の語句空所補充・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		

	27	リスニング・短文の語句空所補充・英作文	教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと				
	28	リスニング・長文の語句空所補充テキスト・英作文	教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと				
	29	リスニング・長文の語句空所補充テキスト・英作文	教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと				
	30	英語C-②クラス 学期末試験	前期の授業内容全般を復習しておくこと				
評価方法	(1) 学年末試験(筆記)を実施する。(2) 授業の中で小テストを4回実施する。(3) 宿題提出状況以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	学期末試験	○					80%
	小テスト	○					10%
	宿題	○			○		10%
履修上の注意	授業に電子辞書または英語辞典を必ず持参してください。 出席が講義回数数の3分の2に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	実用英語 I -①				
科目名(英)					
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	夏山恵
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験	航空会社にて国際線客室乗務員として勤務
対象学科・学年	ホテルブライダル科 1年				
授業概要	基本的な単語、文法を習得し、中学校卒業レベルの英語力を習得する。 出題形式に沿った演習と精聴リスニングの訓練を行い、英検3級取得を目標とする。				
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他
	○				
	○	○			
	○	○			
目標					
1200語程度の単語、熟語力を身につけることができる。					
テキストの課題文について9割以上英語で解答することができる。					
テキストのリスニング内容をほぼノーマルスピードで聞き取り、音読することができる。					
テキスト・教材 参考図書	<ul style="list-style-type: none"> ・啓隆社 Baton Pass G1 ・旺文社 英検3級でる順パス単／英検3級出る順パス単書き覚えノート ・過去問題演習プリント ・ジャパンタイムズ はじめての英語音読 				
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	授業のガイダンス-授業の基本方針とスケジュールの説明、自らの動機とゴール設定の明確化			
	2	・現在時制、過去時制 ・リスニング			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと
	3	・進行形、未来時制 ・リスニング			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと
	4	・まとめ小テスト① ・リスニング			授業内容に関わる確認テストを実施するので、復習しておくこと
	5	・疑問文、命令文、名詞、冠詞 ・リスニング			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと
	6	・代名詞、助動詞 ・リスニング			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと
	7	・まとめ小テスト② ・リスニング			授業内容に関わる確認テストを実施するので、復習しておくこと
	8	・動名詞、不定詞 ・リスニング			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと
	9	・形容詞、副詞、比較 ・リスニング			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと
	10	・まとめ小テスト③ ・リスニング			授業内容に関わる確認テストを実施するので、復習しておくこと
	11	・受動態、現在完了形 ・リスニング			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと
	12	・分詞、関係代名詞 ・リスニング			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと
	13	・まとめ小テスト④ ・リスニング			授業内容に関わる確認テストを実施するので、復習しておくこと
	14	・文構造、否定疑問文、付加疑問文、間接疑問文 ・リスニング			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと
	15	・前置詞、接続詞 ・リスニング			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと
	16	・まとめ小テスト⑤ ・リスニング			授業内容に関わる確認テストを実施するので、復習しておくこと
	17	過去問題演習と補足(リスニングを含む)			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと
	18	過去問題演習と補足(リスニングを含む)			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと
	19	過去問題演習と補足(リスニングを含む)			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと
	20	過去問題演習と補足(リスニングを含む)			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと
21	過去問題演習と補足(リスニングを含む)			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと	

	22	過去問題演習と補足(リスニングを含む)	教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと				
	23	過去問題演習と補足(リスニングを含む)	教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと				
	24	過去問題演習と補足(リスニングを含む)	教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと				
	25	過去問題演習と補足(リスニングを含む)	教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと				
	26	過去問題演習と補足(リスニングを含む)	教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと				
	27	過去問題演習と補足(リスニングを含む)	教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと				
	28	実力完成模擬テスト①(筆記)	授業で学んだことを総復習してからテストに臨むこと				
	29	実力完成模擬テスト②(リスニング)	授業で学んだことを総復習してからテストに臨むこと				
	30	定期試験	授業で学んだことを総復習してからテストに臨むこと				
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)授業の中で小テストを5回実施する。 (3)授業への参加状況(音読の取り組み姿勢や積極的な発言) 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				80%
	小テスト	○	○				10%
	授業への参加態度	○			○		10%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	英会話 I -①						
科目名(英)	English Communication I -①						
単位数	2	時間数	30	担当者	Robert Sumner		
実施年度	2020	実施時期	前期	担当者実務経験	English Teacher		
対象学科・学年	Hotel Bridal 1st Grade						
授業概要	Provide students with motivation to learn English Give students confidence to believe they can improve Provide English skills for Everyday English to the work environment						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					To learn everyday vocabulary & remember key words	
		○				Study to give students confidence to express themselves	
				○		Encourage students to speak with confidence & positive attitude	
テキスト・教材 参考図書	Person to Person Third 1 Student Book with Audio CD,Talk a Lot BOOK1,,Worksheets						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	Self introduction&Getting to know each other					
	2	Talkopoly & personal information					
	3	Interests&Abilities					
	4	Check in to a Hotel					
	5	Hotel English & Vocabulary					
	6	Talk about Family					
	7	How often?&Telling the time					
	8	Daily routine					
	9	Past simple					
	10	Hotel Roleplay					
	11	Leisure,Sports & Hobbies					
	12	Country trivia & Present perfect					
	13	Hotel English & Announcement					
	14	Review&Test Preperation					
15	End of term Test						
評価方法	(1) Term Examination (2) Attitude and Participation in the class Evaluation: S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
	態度・意欲				◎		50%
履修上の注意							

科目名	Word						
科目名(英)							
単位数	2	時間数	30時間	担当者	北島正幸		
実施年度	2020	実施時期	前期	担当者実務経験	国立大学法人にてテクニカルスタッフとして勤務		
対象学科・学年	ホテルブライダル1年						
授業概要	あらゆるビジネスシーンに最も活用されている「ワープロソフトMicrosoft Word」。そのWordの基本の習得を目指すとともにPCスキル並びにITリテラシーの向上を図ります。また、各回の授業の最初または最後に文字入力の実践を行います。講義終了後に行われる「サーティファイWord文書処理技能認定試験 3級」の合格を目指す。						
授業形式	講義: △	演習:	実習:	実技: ○	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					Wordの日本語処理機能・編集機能を理解することができる	
		○				Wordの日本語処理機能・編集機能を利用することができる	
		○				文字入力を10分間で300文字以上できるようになる。	
テキスト・教材 参考図書	Word2016クイックマスター(基本編) Word文書処理技能認定試験 3級 問題集						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	Introduction・typing・環境設定					
	2	Wordの基本・文字入力と編集の基本操作					
	3	文書の編集					
	4	文書の編集					
	5	文書の印刷					
	6	文書の作成					
	7	文書の作成					
	8	表を使った文書の作成					
	9	表を使った文書の作成					
	10	図形や画像を使った文書の作成					
	11	図形や画像を使った文書の作成					
	12	総復習					
	13	総合学習問題					
	14	総合学習問題					
15	期末試験						
評価方法	(1)定期試験(検定試験) (2)期末試験とレポート (3)講義出席・練習問題・課題提出のすべてを実施した平常点(3)を100点とし、期末試験・検定試験の点数との平均で行う。成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。 検定試験の結果が不調(エラー等)または受験しなかった場合は別途担当教員から試験・またはレポートを課す。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験(検定試験)	◎	◎				25%
	期末試験またはレポート		◎				25%
	平常点	◎	◎				50%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。15回の講義のあと補講がある場合がある。						

科目名	ホテル・ブライダルゼミ						
科目名(英)							
単位数	1	時間数	15	担当者	小形 享平		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験	ホテル料飲部にて勤務		
対象学科・学年	ホテル・ブライダル科1年生						
授業概要	ホテル実習準備と実習に対する心構えの構築、ホテル実習先だけでなく、様々なホテルや企業を知る。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○			○		夏季実習に向け、業界に相応しい身だしなみを選択できる	
	○			○		実習先企業に提出する書類を準備することができる	
テキスト・教材 参考図書	・ホテル業界就職ガイド2021 ・講師作成資料						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	メイクアップ講座					
	2	夏季ホテル実習について					
	3	実習用写真撮影・海外留学説明会					
	4	韓国研修旅行説明会					
	5	夏季ホテル実習準備・提出書類について					
	6	ホテル実習 学生紹介シート作成					
	7	ホテル実習 実習先ホテル・地域調査/資料作成					
	8	ホテル実習中の生活・課題について					
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1) 提出物は学生紹介シートの他、実習先確定後は実習ホテルや地域の調査を行い資料を作成したもの。 (2) 授業態度は積極的な発言・質問の他、提出物期日の厳守などを評価する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準はS(90点以上)A(80点以上)B(70点以上)C(60点以上)D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	提出物	◎	○				50%
	授業態度				◎		50%
履修上の注意							